

## 『知床永久の森林づくり』の概要について

## 1 平成19年度の取り組み

知床では、来訪者の急増による特定地域の過剰・集中利用やエゾシカ食害による森林への影響などの問題が顕在化しています。

こうしたことから、自然環境の保全に留意しつつ、来訪者に対して、森林と人との多様な関わりをより効果的・実践的に学ぶ場や自ら森林づくりに参加する機会を提供するため、平成19年度にボランティア団体、教育機関、企業など多様な方々の参加をいただき、19年7月に「知床永久の森林づくり協議会」を設置しました。本協議会においては、これまでの議論等を踏まえ、20年3月に「知床における国民参加の森林づくり活動等の推進に関するビジョン」（別添資料参照。）を取りまとめたところです。

また、知床世界自然遺産を楽しみに訪れる多くの方々が立ち寄られ、森林ボランティア活動に関する打合せ、研修、意見交換、情報発信の場としても利用でき、地元の森林づくり協議会やNPO等の活動拠点となる「ボランティア等活動拠点施設」を、斜里町ウトロ地区の国設知床野営場内に整備し、まもなくオープン予定です。

## 2 平成20年度の取り組み

平成20年度には、知床森林センター事務所棟等を移転・整備するとともに、9月27日（土）、北見地区で実施予定の育樹祭（森林管理局と北海道の共催）に合わせて、東京農業大学オホーツクキャンパスでの森林講座や旭山動物園の動物講座等を組み合わせた東京からのツアーを、関係機関と連携しながら進めることとしています。

また、知床における森林づくり活動を将来にわたって継続するための体制づくりや企業等多様な主体が参画するための仕組み及びPR手法の検討に取り組むこととしています。

さらに、生物多様性検討委員会委員等の学識経験者等からの助言を頂き、国民参加で実施する森林づくりの森林施業の方針を検討することとしており、この方針を踏まえて、知床の森林の特性を活かした多様な森林体験活動メニューの企画・提案を行い、「知床の森林づくり」への参加者の拡大を図るとともに、その活動成果を「知床モデル」として全国発信し、国民参加の森林づくりのより一層の促進を図ります。



ボランティア等活動拠点施設



植栽予定箇所（羅臼側）

知床永久の森林づくり協議会委員 名簿 [平成19年度]

氏 名	所 属 等
秋山 英敏	セブン-イレブンみどりの基金理事
今井 鉄男	ウトロ漁業協同組合代表理事組合長
上野 洋司	知床斜里町観光協会会長
楓 千里	(株) JTBパブリッシング法人事業部部長
菅野 光洋	北海道旅客鉄道(株) 開発事業本部副本部長
黒瀧 秀久	東京農業大学教授 オホーツク実学センター長
鈴木 順策	オホーツクみどりネットワーク代表
鈴木 幸夫	朝日新聞北海道支社広告チーム マネージャー
田澤 由利	(株) ワイズスタッフ代表取締役
田中 勝博	羅臼漁業協同組合代表理事組合長
辻井 達一	(財) 北海道環境財団理事長
辻中 義一	知床羅臼町観光協会会長
中川 元	斜里町立知床博物館館長
丹羽 祐而	(株) 丹羽企画研究所代表取締役
坂東 元	旭川市旭山動物園副園長
村田 均	斜里町長
森 信也	(財) 知床財団理事長
森本 全	(株) ANA総合研究所主席研究員部長
脇 紀美夫	羅臼町長

※ 敬称略 五十音順

<オブザーバー>

環境省釧路自然環境事務所 国立公園企画官 長田 啓  
 北海道網走支庁 産業振興部長 巻口 公治

仕組みづくり部会委員 名簿 [平成19年度]

(札幌地区、知床地区、北見・網走地区)

	氏 名	所 属 等
札幌地区	菅野 光洋 久保田 学 鈴木 幸夫 丹羽 祐而 森末 忍	北海道旅客鉄道(株) 開発事業本部副本部長 (財)北海道環境財団 企画事業課長 朝日新聞北海道支社広告チーム マネージャー (株)丹羽企画研究所 代表取締役 (株)北海道アルパ 情報社 事業支援室 プランナー
知床地区	石見 公夫 上野 洋司 田澤 道広 三浦 里紗 村田 良介 山中 正実	知床ガイド協議会 会長 知床斜里町観光協会 会長 羅臼町((財)知床財団出向 羅臼地区担当次長) 知床羅臼町観光協会 事務局長 斜里町 環境保全課長 知床財団 事務局長
北見・網走区	飯田 一夫 黒瀧 秀久 鈴木 順策 田澤 由利 巻口 公治	A N Aセールス北海道北見網走支店長 東京農業大学オホーツク実学センター長 オホーツクみどりネットワーク代表 (株)ワイズ スタッフ 代表取締役 北海道網走支庁 産業振興部長

※ 敬称略 五十音順

<ヒアリングを実施した有識者、関係団体>

- ・オホーツク圏観光連盟会長
- ・(社)北海道観光連盟副会長
- ・(社)日本経済団体連合会自然保護協議会
- ・(社)日本ユネスコ協会連盟
- ・NPO法人教育支援協会

## 知床永久の森林づくり協議会及び仕組みづくり部会の開催状況

### ◆ 第1回 知床永久の森林づくり協議会（平成19年7月13日（金））

#### <議題>

- ① 国民参加の森林づくりの現状と課題
- ② 知床自然の森林づくりの現状と課題
- ③ 協議会のスケジュールについて

### ◇ 知床永久の森林づくり協議会 仕組みづくり部会

（札幌地区 平成19年9月5日（水））

（知床地区 平成19年9月7日（金））

#### <議題>

- ① 仕組みづくり部会の進め方について
- ② 知床に関する各委員会等との連携・調整について
- ③ 知床の森林づくり活動に関する検討課題について
- ④ 委員からの提案
- ⑤ 地区毎のテーマの検討  
（札幌地区：サポート体制（企業支援の方策、ツアー企画等）  
（知床地区：地元としての役割の検討（受入体制・実施プログラム等）
- ⑥ 知床半島の森林・森林づくり活動に対する意識調査（アンケート）  
について

### ◆ 第2回 知床永久の森林づくり協議会（平成19年9月26日（水））

#### <議題>

- ① 知床に関する各委員会等との連携・調整の考え方について
- ② 第一回仕組みづくり部会等の結果について
- ③ ビジョン策定の目的について
- ④ 知床の森林づくり活動フィールドの検討について
- ⑤ 実効性の高いビジョン・素案について
- ⑥ 意識調査（アンケート）の実施について

◇ 知床永久の森林づくり協議会 仕組みづくり部会

(北見・網走地区 平成19年12月17日(月))

(知床地区 平成19年12月18日(火))

(札幌地区 平成19年12月21日(金))

<議題>

- ① 森林づくり体験等プログラム(ツアー)の具体化を進めるフィールドについて
- ② 森林づくり体験等プログラム(ツアー)の具体例及び次年度以降の実行体制等について
- ③ 知床森林づくりに関する意識調査(アンケート)の結果

◆ 第3回 知床永久の森林づくり協議会(平成20年2月28日(木))

<議題>

- ① 知床における国民参加の森林づくり活動等の推進に関するビジョンのとりまとめについて
- ② 来年度以降の実行体制について

※ 上記のほか必要に応じて、協議会委員や有識者への個別ヒアリング及び企業訪問を実施し、今後の進め方に対する具体的なご意見・提案を頂いた。

<ヒアリング・企業訪問等の実施状況>

- ・ 9月 6・7日 委員ヒアリング
- ・ 10月 1日 道内企業訪問
- ・ 10月 3日 道外企業訪問
- ・ 10月 4・5日 委員ヒアリング
- ・ 11月29・30日 委員ヒアリング、道外企業訪問
- ・ 12月 12日 委員ヒアリング
- ・ 12月 17日 有識者ヒアリング
- ・ 12月 25日 有識者ヒアリング
- ・ 2月 4・6日 関係団体ヒアリング
- ・ 2月 14日 委員ヒアリング
- ・ 2月21・22日 委員ヒアリング
- ・ 2月27・28日 委員ヒアリング

## 知床の森林をフィールドとした森林づくり活動に関わる 基本的な森林施業について（案）

平成20年2月、「知床における国民参加の森林づくり活動等の推進に関するビジョン」（以下、「ビジョン」と言う。）が、「知床永久の森林づくり協議会」で示されたところです。

そのなかで、「現状と課題」において、「知床自然遺産地域周辺の森林には、36～45年生（8～9齢級）の間伐などの管理を行うべき人工林が散在しており、今後、針交混交林への誘導など遺産地域内と連続した森林として適切に整備していく必要がある。」（ビジョン9頁）と分析しており、また、「国民参加の当面の活動」として、「アクセスの条件が比較的良好で、笹地等への植樹活動が可能なフィールドがあるほか、生育途中の手入れの必要なアカエゾマツやトドマツの人工林が点在しているエリアであるため、林況に応じて、植樹、下刈り、枝打ち、保育間伐、エゾシカ被害の防除対策等の森林づくり活動を行う。」（ビジョン13頁）とされています。

そこで、これら森林づくり活動が企画されているフィールドについて、現時点における森林施業上の取扱いを整理し、今後の基本的な森林施業等について検討した上で本取組を具現化するものとします。

### 記

#### 1 「知床の森林づくり活動」が企画されているフィールド及びその森林現況等概要

- (1) 「㊦（斜里側）日の出林道～㊧金山川河口」については、別紙1のとおり
- (2) 「㊨（斜里側）オペケプ林道」については、別紙2のとおり
- (3) 「㊩（斜里側）宇登呂林道」については、別紙3のとおり
- (4) 「㊰（羅臼側）春苧古丹林道」については、別紙4のとおり
- (5) 「㊱（羅臼側）精神川林道」については、別紙5のとおり
- (6) 「㊲（羅臼側）ざいもく岩環境防災林」については、別紙6のとおり

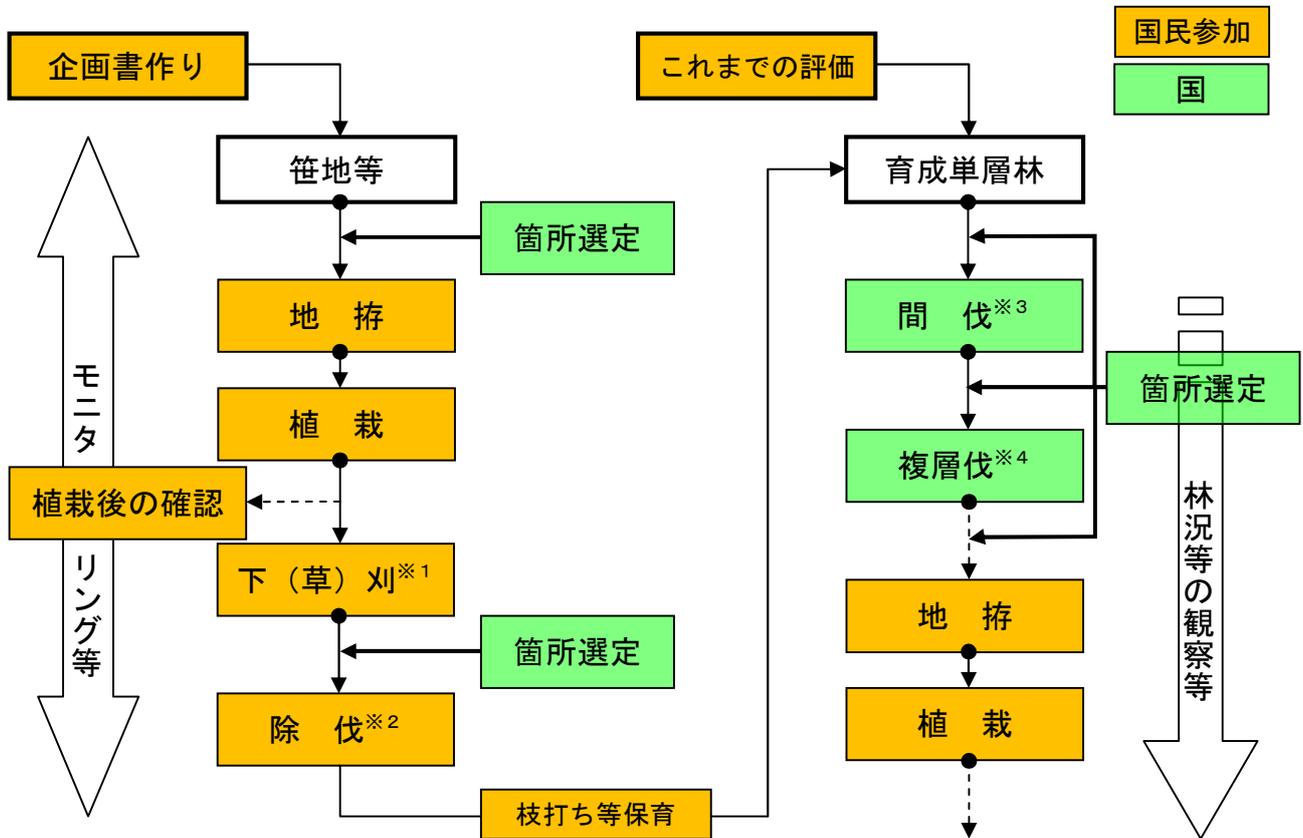
#### 2 今後の基本的な森林施業の検討

- ・ 前段で述べた人工林や笹地については、将来、その周辺の天然林の樹種構成等を目標に整備を進めるものとします。
- ・ 樹冠層が単一の育成単層林にあつては、複数の樹冠を有する育成複層林を造成する齢級までは、積極的に間伐等の森林整備を行い、植栽樹種の成長を促すとともに周辺林分からの種子等の分散により更新した天然木の保育も併せて行うこととします。
- ・ 複数の樹冠を有する育成複層林を造成する齢級に達した林分については、小面積皆伐（複層伐）を行い、天然力も活用しつつ、補助的に下木（苗木）を植栽する等し、複数の樹冠層の林分に育成します。
- ・ 人工林内に天然木が多く存在する人工林にあつては、樹種構成等に配慮しつつ慎重に抜き伐り等を行い、よりその周辺の天然林に近似するよう誘導します。

### 3 想定される国民参加の森林づくり活動

上記2で述べた森林施業を進める上で国民が参加できると想定される植樹・育樹活動を次のとおり検討しました。

【国民参加の森林づくりに係る流れ】



※1 植栽後7～10年間程度実施

※2 植栽後10、14年頃実施

※3 トドマツ植栽後31年以上で2～3回程度実施  
エゾマツ植栽後36年以上で2～3回程度実施

※4 トドマツ植栽後60年以上で実施  
エゾマツ植栽後70年以上で実施

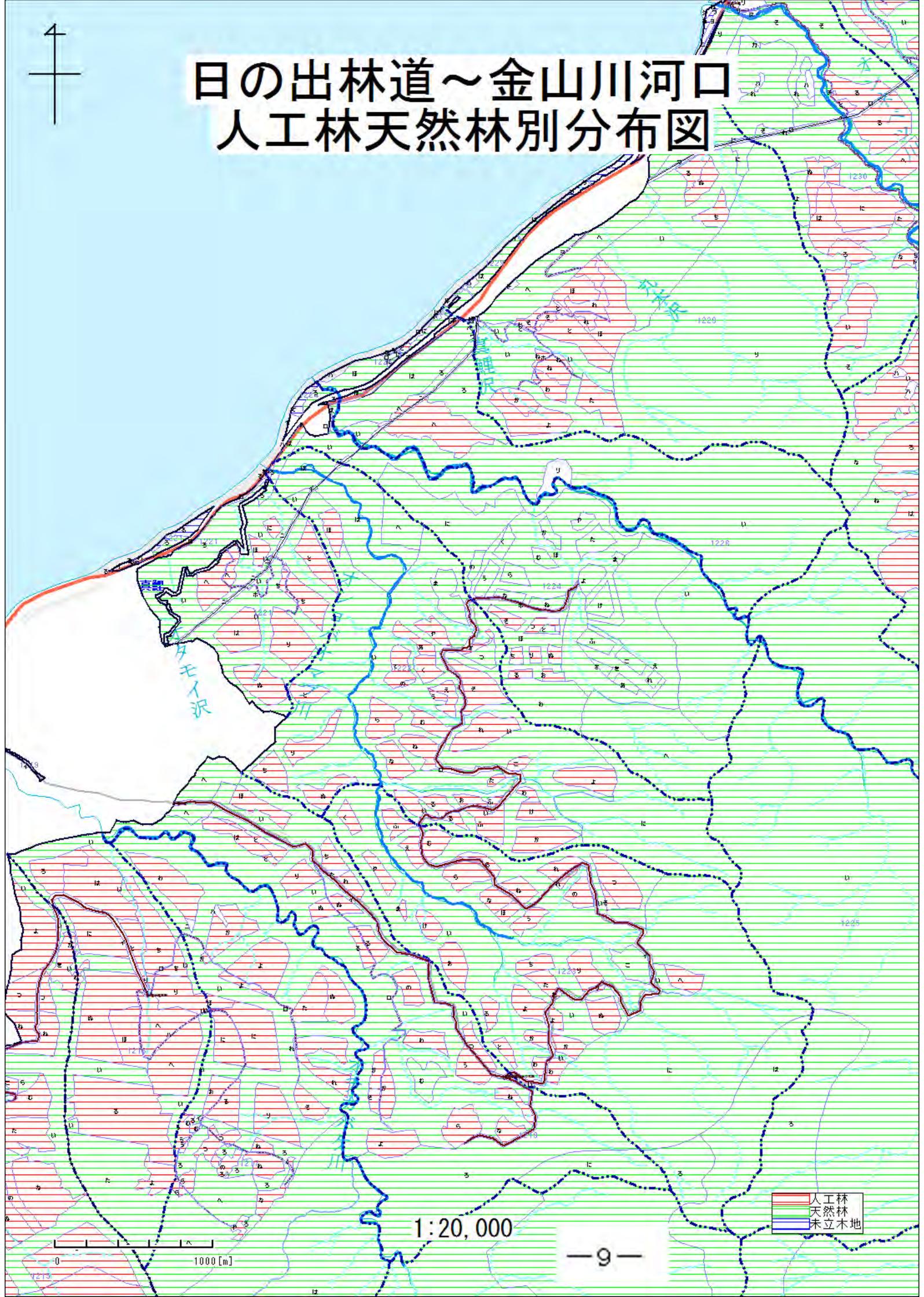
### 4 国民が参加できると想定される植樹・育樹活動の具現化

上記3の植樹・育樹活動に参加された国民に有意義な体験を提供するため、現地等において、当面行う森林づくり活動の適地や各作業種等が実現可能か否か検討する必要があります。

## 【□日の出林道～㊦金山川河口】

項目	細目等		概要			
区域	斜里側		知床半島の北岸、網走南部森林管理署所管			
フィールド (「知床森林作り 応援マップ」より)	□日の出林道		林道沿いに針交混交林やトドマツなどの人工林が広がり、樹林を流れ落ちる小さな滝もあります。森林づくり活動とともに、木の実やツルなどの自然の恵みを使ったクラフト体験などができます。			
	㊦金山川河口		国道沿線の森林に 20m 超の巨木が残されています。巨木に登ればワシの目になってオホーツク海を眺めることができます。			
該当林小班等	網走南部森林管理署		1219、1222～1224、1226 林班等			
人天別面積等			合計面積	林地面積	林地以外	
	人工林		261.88 ha	258.98 ha	2.90 ha	
	天然林		1,315.16 ha	1,273.58 ha	41.58 ha	
	未立木地		3.16 ha	3.16 ha	—	
	林地外		41.41 ha	—	41.41 ha	
	合計		1,621.61 ha	1,535.72 ha	85.89 ha	
人工林の構成樹種			樹種	占有面積	材積	齢級
	人工林	トドマツ		45.04 ha	1,647 m <sup>3</sup>	5 齢級
		アカエゾマツ		213.94 ha	0 m <sup>3</sup>	4 齢級
現在の構成樹種割合 (将来の目標林分)			樹種	面積割合	材積割合	齢級
	天然林	天然トドマツ		43%	43%	9～15 齢級
		その他広葉樹		18%	17%	
		ミズナラ		16%	16%	
		ダケカンバ		9%	10%	
		シナノキ		6%	6%	
機能類型			合計	国土保全	水源かん養	自然維持
人工林		261.88 ha	45.42 ha	216.46 ha	—	
天然林		1,315.16 ha	561.07 ha	716.31 ha	37.78 ha	
未立木地		3.16 ha	3.16 ha	—	—	
林地外		41.41 ha	14.11 ha	27.30 ha	—	
合計		1,621.61 ha	623.76 ha	960.07 ha	37.78 ha	
現計画の施業方法等 (天然林は参考計上)	方向性		人工林として維持 ← → 天然林化を促進			
	施業方法		育成単層林施業	育成複層林施業	育成天然林施業	天然生林施業
	人工林		187.04 ha	44.35 ha	27.59 ha	—
	天然林		—	—	354.03 ha	919.55 ha

# 日の出林道～金山川河口 人工林天然林別分布図

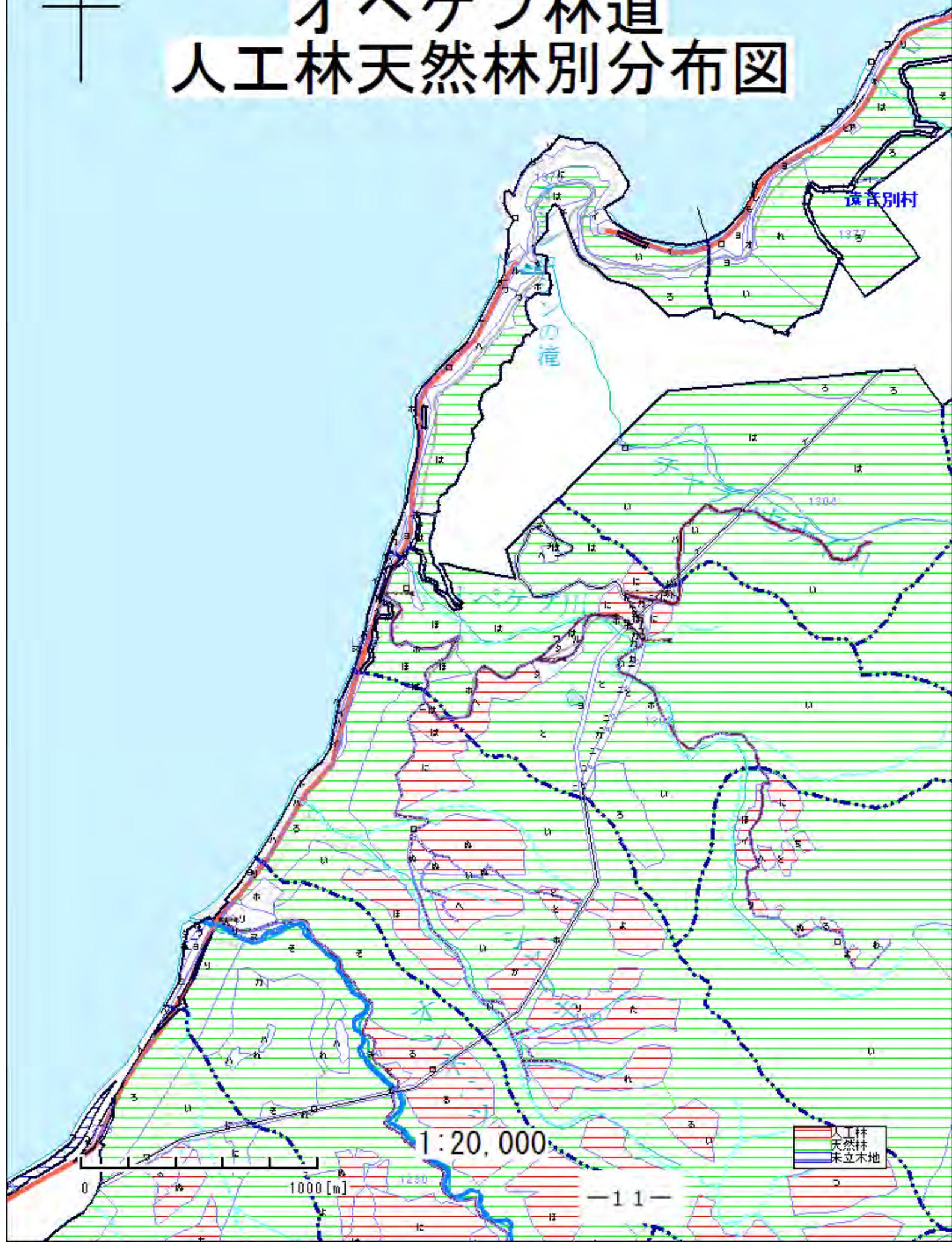


## 【園オペケブ林道】

項目	細目等		概要			
区域	斜里側		知床半島の北岸、網走南部森林管理署所管			
フィールド (「知床森林作り 応援マップ」より)	園オペケブ林道		地すべり復旧工事の跡地での森林づくり活動ができるフィールドです。林道からはオホーツク海が見渡せます。			
該当林小班等	網走南部森林管理署		1302～1304 林班等			
人天別面積等			合計面積	林地面積	林地以外	
	人工林		15.49 ha	15.49 ha	—	
	天然林		730.6 ha	710.52 ha	20.08 ha	
	未立木地		—	—	—	
	林地外		20.97 ha	—	20.97 ha	
	合計		767.06 ha	726.01 ha	41.05 ha	
人工林の構成樹種			樹種	占有面積	材積	齢級
	人工林		トドマツ	8.57ha	283m <sup>3</sup>	7 齢級
			アカエゾマツ	6.92ha	0m <sup>3</sup>	6 齢級
現在の構成樹種割合 (将来の目標林分)			樹種	面積割合	材積割合	齢級
	天然林		天然トドマツ	31%	31%	17 齢級
			その他広葉樹	28%	28%	
			ダケカンバ	15%	15%	
			ミズナラ	13%	14%	
		シナノキ	5%	5%		
機能類型			合計	国土保全	水源かん養	自然維持
	人工林		15.49 ha	—	15.49 ha	—
	天然林		730.60 ha	13.69 ha	589.35 ha	127.56 ha
	未立木地		—	—	—	—
	林地外		20.97 ha	9.73 ha	11.24 ha	—
	合計		767.06 ha	23.42 ha	616.08 ha	127.56 ha
現計画の施業方法等 (天然林は参考計上)	方向性		人工林として維持 ← → 天然林化を促進			
	施業方法		育成単層林施業	育成複層林施業	育成天然林施業	天然生林施業
	人工林		—	8.57 ha	6.92 ha	—
	天然林		—	—	586.83 ha	123.69 ha



# オペケプ林道 人工林天然林別分布図



遠音別村

1:20,000

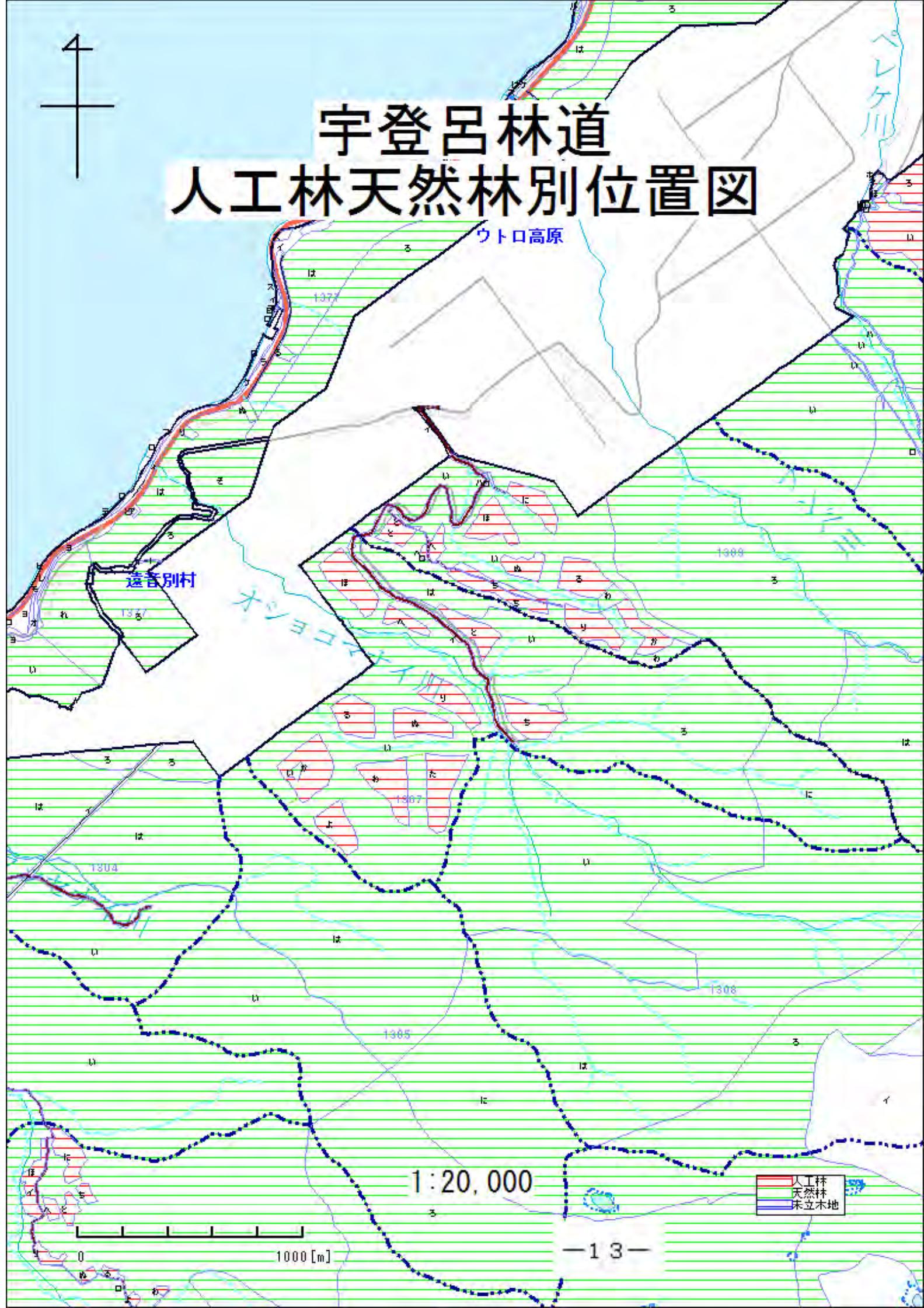
人工林  
天然林  
未立木地

0 1000 [m]

## 【宇登呂林道】

項目	細目等		概要			
区域	斜里側		知床半島の北岸、網走南部森林管理署所管			
フィールド (「知床森林作り 応援マップ」より)	宇登呂林道		ウトロ高原の農地を通過して林道に入ります。ミズナラの巨木がある広場があり、エゾシカが現れることもあります。			
該当林小班等	網走南部森林管理署		1307、1309 林班等			
人天別面積等			合計面積	林地面積	林地以外	
	人工林		56.24 ha	55.05 ha	1.19 ha	
	天然林		401.08 ha	392.72 ha	8.36 ha	
	未立木地		—	—	—	
	林地外		4.88 ha	—	4.88 ha	
	合計		462.2 ha	447.77 ha	14.43 ha	
人工林の構成樹種			樹種	占有面積	材積	齢級
	人工林		トドマツ	46.56 ha	318 m <sup>3</sup>	5 齢級
			アカエゾマツ	8.49 ha	0 m <sup>3</sup>	5 齢級
現在の構成樹種割合 (将来の目標林分)			樹種	面積割合	材積割合	齢級
	天然林		天然トドマツ	34%	35%	17 齢級
			その他広葉樹	26%	23%	
			ミズナラ	17%	16%	
			ダケカンバ	9%	11%	
	シナノキ	6%	6%			
機能類型			合計	国土保全	水源かん養	自然維持
	人工林	人工林	56.24 ha	—	—	56.24 ha
	天然林	天然林	401.08 ha	—	—	325.33 ha
	未立木地	—	—	—	—	—
	林地外	林地外	4.88 ha	—	—	4.88 ha
	合計	合計	462.20 ha	—	—	386.45 ha
現計画の施業方法等 (天然林は参考計上)	方向性		人工林として維持 ← → 天然林化を促進			
	施業方法	育成単層林施業	育成複層林施業	育成天然林施業	天然生林施業	
	人工林	—	53.46 ha	2.78 ha	—	
天然林	—	—	270.42 ha	130.66 ha		

# 宇登呂林道 人工林天然林別位置図



1:20,000

0 1000 [m]

## 【山春苧古丹林道】

項目	細目等		概要			
区域	羅臼側		知床半島の南岸、根釧東部森林管理署所管			
フィールド (「知床森林作り 応援マップ」より)	山春苧古丹林道		春苧古丹川周辺では、秋になるとダムに滞留するサケ・マスを狙うオジロワシ、オオワシがやってきます。野生動物の観察や川遊びとともに、森林づくり活動もできるフィールドです。			
該当林小班等	根釧東部森林管理署		204～209 林班			
人天別面積等			合計面積	林地面積	林地以外	
	人工林		280.68 ha	279.90 ha	0.78 ha	
	天然林		2,647.20 ha	2,596.21 ha	50.99 ha	
	未立木地		—	—	—	
	林地外		480.14 ha	—	480.14 ha	
	合計		3,408.02 ha	2,876.11 ha	531.91 ha	
人工林の構成樹種			樹種	占有面積	材積	齢級
	人工林		トドマツ	104.57 ha	9,484 m <sup>3</sup>	8 齢級
			アカエゾマツ	173.33 ha	7,692 m <sup>3</sup>	8 齢級
現在の構成樹種割合 (将来の目標林分)			樹種	面積割合	材積割合	齢級
	天然林		ダケカンバ	45%	46%	15 齢級
			その他広葉樹	22%	23%	
			天然トドマツ	16%	18%	
			天然エゾマツ	9%	10%	
		アカエゾマツ	5%	0%		
機能類型			合計	国土保全	水源かん養	自然維持
	人工林		280.68 ha	143.34 ha	—	137.34 ha
	天然林		2,647.20 ha	1,704.91 ha	—	942.29 ha
	未立木地		—	—	—	—
	林地外		480.14 ha	150.84 ha	—	329.30 ha
	合計		3,408.02 ha	1,999.09 ha	—	1,408.93 ha
現計画の施業方法等 (天然林は参考計上)	方向性		人工林として維持 ← → 天然林化を促進			
	施業方法		育成単層林施業	育成複層林施業	育成天然林施業	天然生林施業
	人工林		—	—	280.68 ha	—
	天然林		—	—	1,630.84 ha	1,016.36 ha

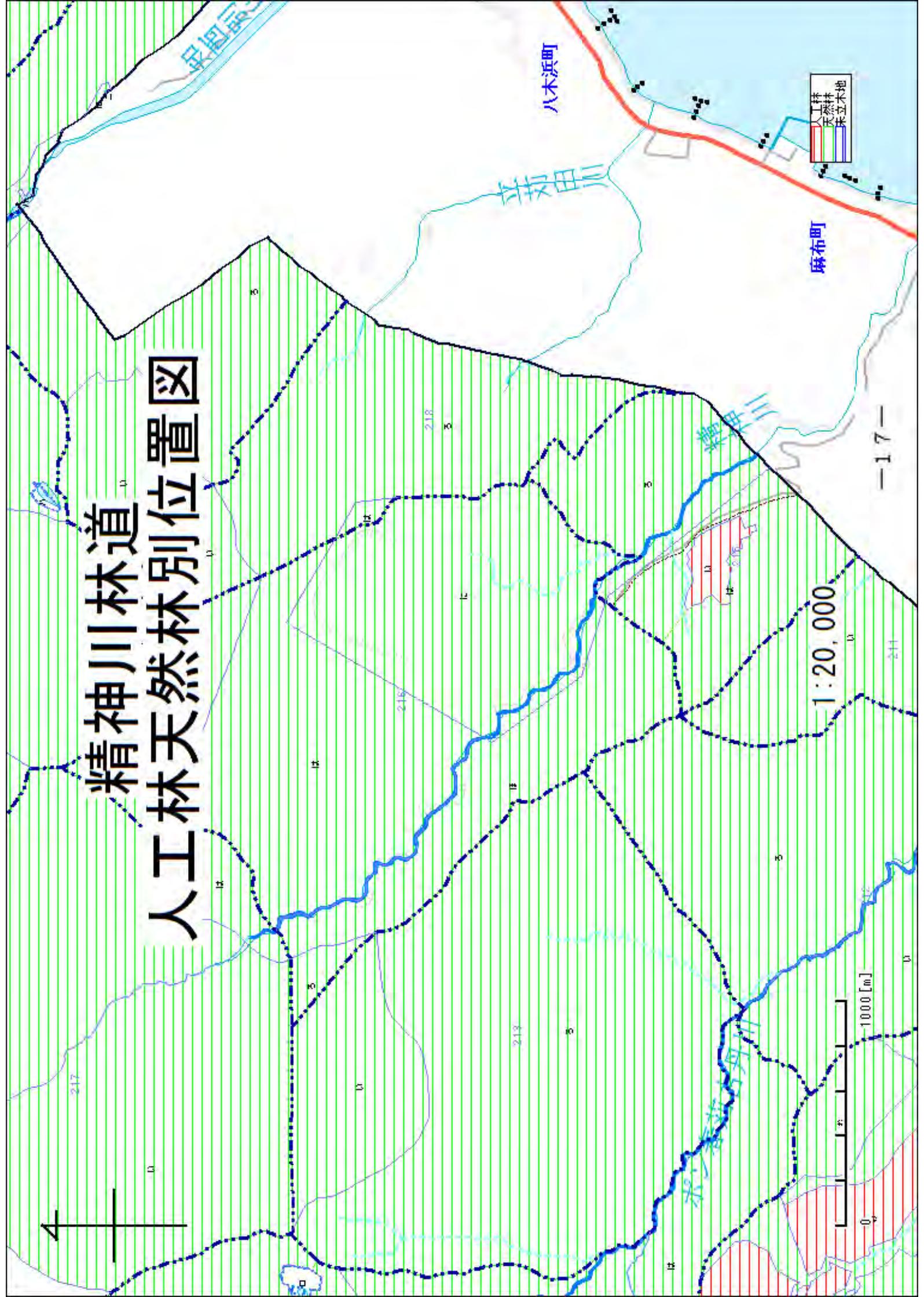
# 春茹古丹林道 人工林天然林別位置図



## 【☒精神川林道】

項目	細目等		概要			
区域	羅臼側		知床半島の南岸、根釧東部森林管理署所管			
フィールド (「知床森林作り 応援マップ」より)	☒精神川林道		地すべり普及工事の跡地を森林にもどすための森林づくり活動ができるフィールドです。途中の高台からは、根室海峡が見渡せません。			
該当林小班等	根釧東部森林管理署		215、216 林班等			
人天別面積等			合計面積	林地面積	林地以外	
	人工林		6.65 ha	6.65 ha	—	
	天然林		430.11 ha	416.03 ha	14.08 ha	
	未立木地		—	—	—	
	林地外		—	—	—	
合計		436.76 ha	422.68 ha	14.08 ha		
人工林の構成樹種			樹種	占有面積	材積	年齢級
	人工林	トドマツ	—	0 m <sup>3</sup>	5 年齢級	
		アカエゾマツ	6.65 ha	0 m <sup>3</sup>	5 年齢級	
現在の構成樹種割合 (将来の目標林分)			樹種	面積割合	材積割合	年齢級
	天然林	その他広葉樹	21%	23%	15 年齢級	
		ダケカンバ	47%	46%		
		天然エゾマツ	9%	8%		
		天然トドマツ	23%	23%		
—	—	—	—			
機能類型			合計	国土保全	水源かん養	自然維持
	人工林		6.65 ha	6.65 ha	—	—
	天然林		430.11 ha	424.95 ha	—	5.16 ha
	未立木地		—	—	—	—
	林地外		—	—	—	—
合計		436.76 ha	431.60 ha	—	5.16 ha	
現計画の施業方法等 (天然林は参考計上)	方向性		人工林として維持 ←—————→ 天然林化を促進			
	施業方法		育成単層林施業	育成複層林施業	育成天然林施業	天然生林施業
	人工林		—	—	6.65 ha	—
天然林		—	—	—	430.11 ha	

# 精神川林道 人工林天然林別位置図



- 人工林
- 天然林
- 未立木地
- 未立木地

—17—

1:20,000

1000 [m]

八木浜町

麻布町

精神川

精神川

## 【囚ざいもく岩環境防災林】

項目	細目等	概要			
区域	羅臼側	知床半島の南岸、根釧東部森林管理署所管			
フィールド (「知床森林作り 応援マップ」より)	囚ざいもく岩環境防 災林	防鹿柵で囲まれた中に森林づくり活動が できるフィールドがあります。この防災林の近 くにクジラの回遊を見学できる展望台が最近 町民の手で作られました。			
該当林小班等	根釧東部森林管理署	238 林班等			
人天別面積等		合計面積	林地面積	林地以外	
	人工林	—	—	—	
	天然林	275.99 ha	270.15 ha	5.84 ha	
	未立木地	—	—	—	
	林地外	—	—	—	
	合計	275.99 ha	270.15 ha	5.84 ha	
人工林の構成樹種		樹種	占有面積	材積	年齢級
	人工林	—	—	—	—
現在の構成樹種割 合 (将来の目標林 分)		樹種	面積割合	材積割合	年齢級
	天然林	その他広葉樹	25%	26%	16 年齢級
		ダケカンバ	69%	62%	
		天然エゾマツ	2%	3%	
		天然トドマツ	5%	9%	
		—	—	—	
機能類型		合計	国土保全	水源かん養	自然維持
	人工林	—	—	—	—
	天然林	275.99 ha	—	—	275.99 ha
	未立木地	—	—	—	—
	林地外	—	—	—	—
	合計	275.99 ha	—	—	275.99 ha
現計画の施業方法 等 (天然林は参考計 上)	方向性	人工林として維持 ←—————→ 天然林化を促進			
	施業方法	育成単層林 施業	育成複層林 施業	育成天然林 施業	天然生林 施業
	人工林	—	—	—	—
	天然林	—	—	—	275.99 ha

# ざいもく岩環境防災林 人工林天然林別位置図



1:20,000

人工林  
天然林  
未立木地